授業科目名・形態	成人看護学概論　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	水木　暢子	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	N5-1010npmht				

【授業の主題】

現代を生きる成人の生活を多角的にとらえ、成人期の対象の特性及び多様な健康問題について理解を深める。成人期の生活に直結した生活習慣・職業・ストレス等に関連した健康問題を取り上げ、現代人のライフスタイルの特徴と照らし合わせて検討する。また成人期にある人を対象とした看護の基盤となる考え方や理論と援助方法の基本を学ぶ。

【到達目標】

１） 成人期の対象の特徴と現代社会におけるライフスタイルに関連した健康への影響について理解する。
２） 成人期の健康問題の特徴、特に生活習慣病・職業性疾病・ストレスとの関連を理解する。
３） 成人看護学の基本となる代表的な理論や基本となる方法論について理解する。

【授業計画・内容】

第１回　成人看護の対象の理解
第２回　成人への看護アプローチの基本
第３回　行動変容、行動強化に関する理論を用いた演習
第４回　慢性病をもつ人への看護方法
第５回　成人の生活と健康問題①
　　がん予防と生活習慣
第６回　成人の生活と健康問題②
　　労働、ストレス、生活習慣と成人期の健康問題
第７回　健康の急激な破綻からの回復を促す看護方法
第８回　まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行います。第３回の演習では、第２回授業の内容や事前学習した内容を基に、グループワークを行い、発表をしてもらいます。また随時、ペアワーク等による意見交換を行います。

【事前・事後学習】

ポータルサイトまたは配布により、次回授業のレジュメや資料を提示しますので、毎回１時間以上の事前学習を行ってください。グループワークの準備及び事後学習として課題学習、ワークシートの記載や試験対策等を含め、トータル20時間程度の自主学習を行ってください。

【主な関連する科目】

看護学概論、エイジング論、成人看護方法論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

【教科書等】

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学(1)　成人看護学総論　医学書院

【参考文献】

成人看護学概論第３版　ヌーヴェルヒロカワ
ナーシング・グラフィカ　成人看護学(1)：成人看護学概論　第５版　メディカ出版

【成績評価方法】

筆記試験80%、提出物・受講態度・グループ討議への参加態度20%で評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護師として業務に就き、経験した看護実践をもとに成人看護学の基礎的な知識、技能を教授します。

【学生へのメッセージ】

この科目で学んだ理論や方法論が、２年次以降の成人看護方法論を学ぶための基礎になります。